

ヘリコバクター属菌特異的な抗菌活性をもつ化合物

■ 研究者情報

- 研究者名 林原絵美子 / 鈴木仁人
- 所属 細菌第二部 / AMRセンター
- 共同研究 微生物化学研究所・川田学

■ 研究アイデア・技術シーズ

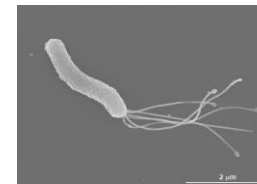
- Intervenolin誘導体AS-1934はピロリ菌に特異的な抗菌活性をもつ。
- マウスを用いたピロリ菌感染実験では、単剤で除菌治療効果を示す。
- AS-1934は酸に対する安定性が高く、胃酸分泌抑制剤を服用せずにpHの低い胃内においても単剤で除菌効果を示すことができたと考えられる。
- AS-1934はピロリ菌のピリミジン合成経路を阻害することにより抗菌活性を示す。
- AS-1934はピロリ菌以外のヘリコバクター属菌に対しても有効である可能性がある。

■ 背景・解決したい課題

- ヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）の除菌治療には胃酸分泌抑制剤と2種類の抗菌薬を用いる3剤除菌治療法が用いられる。
- 3剤除菌治療法は腸内環境を著しく乱すため下痢などの副作用が起きやすい。
- AMRの観点からもピロリ菌特異的に作用する除菌治療法であることが望ましい。

■ 研究概要図

ピロリ菌について



ヘリコバクター・ピロリの電顕像

- ・ ヒト胃に感染し、胃がんや胃・十二指腸潰瘍の原因となる。
- ・ ピロリ菌の3-4割が除菌治療に用いるクラリスロマイシン耐性。

■ 今後の計画等

- Intervenolin誘導体AS-1934について、微生物化学研究所で国内特許取得済